

## 2023年度第3回産業医部会幹事会議事録

○開催日時：2023(R5)年10月9日（日）9：00～～13:45

○開催方法：Web会議（ZOOM）

○出欠状況一覧：（敬称略）      地方会部会長

- ・出席：北海道（羽賀、原）、東北（各務、萱原）、関東（大橋、加藤、谷山、福本、宮本）、北陸・甲信越（塚原、西澤）、東海（石川）、近畿（岩根、深井、森口）、中国（真鍋、塩田）、四国（杉原、斎藤）、九州（池上、小田原、黒崎）、担当理事（西田）、監事（深澤）、専門医制度担当理事（大神）
- ・欠席：遠田和彦、西賢一郎、

### 0. 部会長挨拶

- ・会の開始に先立ち、宮本部会長から、本日の審議内容等に関して挨拶がなされた。

### 1. 審議事項

#### ①前回幹事会議事録の確認（資料1）石川

- ・議事録の確認の流れの説明があり、修正事項があれば1週間以内に連絡して頂きたい旨と、それを受けて確定とする流れが報告された。
- ・本日の幹事会出席状況について報告がなされ、西田 産業医部会担当理事より挨拶（新任）がなされた。

#### ②化学物質の自律管理について（資料2つあり）宮本

- ・配布資料（『20231009RA 結果に基づき健康診断の要否を考える際の指針（冒頭）.pdf』、『20231009 産業医部会提供分（宮本俊明）.pdf』）を画面提示しながら、現在の作成方針及び進捗管理状況について説明、報告があった。今後理事会(12/23)の承認を得て公開する予定であり、産業医部会として、今後 WG での本資料作成後、産業医部会幹事会 ML でのメール審議を経る形とさせて頂きたい旨の説明がなされた。
- ・深澤監事、森口副会長、真鍋幹事から質疑応答（産業医が具体的な実施事項についての確認及び資料の作成方針、中小企業委員会にレビューして頂くための期限設定等々）がなされた。

#### ③専門医制度（社会医学系、日本産業衛生学会）について（資料2-1～2-5）大神

- ・配布資料に沿って、『特例措置による社会医学系専門医・指導医の募集について』におけるシニア世代向け資格付与対象の拡大、ミドル世代向け受験資格の拡充に関する考え方の背景と今後の方針等について説明がなされた。
- ・宮本部会長、小田原幹事、石川幹事、塩田幹事から質疑応答がなされた。

#### ④OHAS 終了後の研修会について (資料 3-1~3-4) 宮本

- ・資料に沿って、産業医部会幹事へのアンケート調査結果の概要が説明された。
- ・宮本部会長の考え方として、OHAS と全く同じ事を引き継ぐのは無理としても、研修コンテンツ提供の在り方を考えてみたり、ディスカッションの在り方を検討してみたり（産業医プロフェッショナルコースとの違いの設定が前提）、単純に現状の OHAS のまま引き継ぐ事ではなく、在り方自体を検討する事の意味はある（ワイガヤの場の提供、横のつながりの場の提供等々）との方向性が示され、以下、様々な論点から質疑応答がなされた。
- ・OHAS の問題点（『指導による弊害』と『産業医大出身者以外への実務研修機会としての利点』）を踏まえた上でのディスカッションの場の提供の必要性、専攻医のコメントを踏まえた繋がり場の提供の必要性、専門医試験の試験官から見た本質的議論の場の提供の必要性、ディスカッションの資料として過去問を使う事のあり方には慎重な議論が必要である事、部会としての関わり方の在り方、グループディスカッションとプレゼンテーションの学び方の在り方、指導医の関わり方の学びの場の提供のあり方等について意見交換がなされた。指導医になりたての方々や 1, 2 回更新の方々に主体的に関わって頂きながらの場づくり、地方会の輪番制で年に 2 回ほど、1 回あたり定員 20 人程度とし、持ち回りで実施していく事を検討する案等が出された。それを受け、地方会毎（北海道、東北、関東、北陸・甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州）の認識の擦り合わせがなされ、人集めの在り方（専攻医登録しているものの試験を受けていない 200 名を対象とする等々）、日本産業衛生学会産業医部会と各地方会医部会の役割分担の在り方、講師選定の在り方、コンテンツの在り方、開催時期の在り方（学会、および担当協議会の裏の時期に担当する等）等について論点を整理し、宮本部会長より理事会に今後の議論の方向性を報告する旨の説明がなされた。

#### ⑤産業医部会報について (編集委員会) (資料 4) 原

- ・資料に沿って、発行・編集作業等の現状報告がなされ、質疑応答がなされた。メルマガについては、黒崎幹事から協議会の報告記事の依頼があった。

#### ⑥プロフェッショナルコースについて (資料 5-1~5-3) 加藤

- ・資料に沿って、現状の報告がなされ、質疑応答がなされた。講師について、HP を提示しながら、胆管癌の労働災害に当事者として対応にあたった経営者と専門家を発生させた会社の社長を招聘予定であることも補足された。

#### ⑦ポスター発表優秀賞について (資料 6~6-7) 西澤

- ・資料に沿って、現状の選考作業の進捗報告がなされ、質疑応答がなされた。

- ・真鍋幹事から審査員の選任の流れの確認がなされ、宮本部会長より第1回幹事会の際に担当割という形を示し選出している旨の説明がなされ、春の学会の表彰制度等々との整合性を整理していく事の必要性の確認がなされた。

⑧学会ホームページの活用、学会のメルマガについて 黒崎

- ・Hp 画面を画面提示しながら、現状の運用状況の報告がなされ、掲載記事のあり方についての質疑応答がなされた。

⑨学会メルマガの産業医部会担当について 池上

- ・口頭で現状の報告がなされ、質疑応答がなされた。

⑩2024年度産業医部会予算案について（資料）加藤

- ・口頭で現状の報告がなされ、質疑応答がなされた。
- ・OHASの引継ぎに係る費用として30万程度計上する旨の確認と、今後MLで産業医部会としての承諾を得る方針であると確認された。

⑪第33回全国協議会（甲府）自由集会について（資料8-1～8-4） 塚原・西澤

- ・第33回開催準備状況について、塚原幹事より資料を基に報告がなされ、西澤幹事より部会シンポジウム（6）に関する説明がなされた。
- ・日程等について、学会Hpを画面共有しながら補足説明がなされ、宮本部会長、黒崎幹事、石川幹事より質疑応答がなされた（オンデマンド、学会入り口でのポスター配布、懇親会での受賞者表彰等々）

⑫第97回学会（広島）医部会フォーラムについて（資料7-1～7-3）真鍋・塩田

- ・配布資料に沿って、企画名および趣旨の説明があり、準備状況の報告がなされた。

テーマ：多様化かつ高度化する産業医業務のスキルアップと実務支援

～産業医の生涯教育のあり方の模索～

日時：2024年5月24日（金）第97回日本産業衛生学会（広島市）

構成：座長2名、演者4名、指定発言1名、120分構成の予定

⑬第97回学会（広島）医部会企画シンポジウムについて 真鍋・塩田

- ・現時点での学会日程(案)を画面に提示しながら、現状の報告がなされた。
- ・産業医部会シンポジウムは、「(仮) 自律的化学品管理」をテーマとして、ワーキンググループメンバーを中心として、宮本部会長を中心にシンポジストを人選していくと報告があった。

⑭第34回全国協議会（千葉）自由集会について 宮本

- ・宮本部長より自由集会のテーマの決め方の在り方について、今までの流れの確認がなされ、特に連続したテーマではないことが確認された。当該学会の開催事務局の担当地方部会が次回の担当地方部会と相談して決定する事を確認し、第34回は関東地方会（第34回）と四国地方会（第35回）、第35回は四国地方会（第35回）と中国地方会（第36回）、という流れとなっている事の共有がなされた。

#### ⑮産業保健専門職の倫理指針を検討するWG 森口・西澤

- ・口頭で現状の報告がなされ、今後の進め方の流れが説明された。

#### ⑯部会員名簿管理について 石川

#### ⑰電子会議室の運用について 石川

- ・Hp 画面を提示しながら、電子会議室の機能説明、部会員名簿管理の現状の報告がなされ、今後の進め方の流れが説明された。この機能を利用することで、既存の部会名簿管理要領も修正することとなった。
- ・大神専門医制度担当理事、西田部会担当理事の電子会議室へのアクセス権の在り方について意見交換がなされ、両名を理事長推薦幹事とすることとなった。

#### ⑱部会員増へ向けて 宮本・森口

- ・口頭で、本日の議論（地方会持ち回りの専門医、指導医の繋がりの方の創設等々）を踏まえた会員増のための策を進めて行く旨の方向性が示された。

#### ⑲役割分担表について（資料）宮本

- ・資料に沿って、各幹事分担案について今後の学会担当地方会の確認も含め、説明がなされた。（第98回学会が東北、第99回が近畿、第100回が北九州、100周年が102回、第34回(2024年)協議会が関東、第35回(2025年)が四国、第36回(2026年)が中国）
- ・産業医部会長賞（日本産業衛生学会）、ポスター発表優秀賞（全国協議会）、日本産業衛生学会の各表彰制度等々の在り方、役割分担についての意見交換がなされた。春の学会の表彰選考担当は、西澤幹事から遠田幹事へ引き継いでいただく方向となった。

#### ⑳次回幹事会の日程について 2024年2月、Web(10/27 19時？甲府) 石川・塩田

- ・2023年度第4回産業医部会幹事会（仮）+懇親会について、現時点では19時からとなっているが、開始時間を18時開始で再調整する事が確認された。
- ・その次の幹事会日程の候補について2/12(月)9:00~12:00とする事が確認された。

## 2. 報告事項

#### ①第34回全国協議会について 宮本

・宮本部会長より Hp 画面を画面提示しながら、現状の報告がなされた。

②第 35 回全国協議会について 杉原・齋藤

・齋藤幹事より口頭で現状の報告がなされた。

③第 96 回学会（宇都宮）について 福本

・福本幹事より口頭で、500 万円程の黒字となり無事に終了したことなど、現状の報告がなされた。

④第 97 回学会（広島）について 真鍋・塩田

・真鍋幹事より、第 97 回学会 Hp 画面を画面提示しながら、現状の報告がなされた。

⑤第 98 回学会（東北地方会）について 菅原・各務

・菅原幹事より、口頭で仙台市にて開催方向であるなど現状報告がなされた。

⑥各種委員会報告（生涯教育、政策法制度、学術、ダイバーシティー、広報）について  
担当幹事

- ・生涯教育委員会について、宮本部会長から GPS 投稿、表彰関連事項の現状について口頭で現状報告がなされた。
- ・政策法制度委員会について、森口副部長から口頭で現状報告がなされた。
- ・学術委員会について、森口副部長から口頭で、動画作成に続いて、学会での講演等を企画していくなどの方向性について報告がなされた。
- ・ダイバーシティー委員会について、大橋幹事から、今後の企画内容について報告がなされた。
- ・広報委員会について、黒崎幹事から、発信文の注意点、今後の企画口頭で現状報告がなされた。

⑦各担当幹事報告について 各幹事

- ・森口副部長より、日医認定産業医の単位シールについての転売問題への防止策として、日医の今後の方針の報告があり、今後学会での運営へも影響がある旨、報告がなされた。

⑧理事会報告について 大橋

- ・資料に沿って、業務執行理事報告関連についての内容説明（『内閣府の定期立ち入り調査について』、『今後の学会、全国協議会ポスター発表の運営方向性』、『各組織の内部留保について』等々）がなされた。

⑨四部会長会議報告 宮本

- ・口頭で『少子化への対応』をテーマとして取り上げる事の4部会毎の検討状況、全国協会の地方会担当順番、国際シンポ等の検討の在り方等々の現状報告がなされた。

⑩各地方会活動報告 各幹事

- ・各地方会長幹事から各地方会の活動状況の報告を口頭で行った。

⑪インボイス関連（資料10-1～10-3） 宮本・森口

- ・資料に沿って、現状の報告がなされた。

⑫その他 宮本

- ・会の終了にあたり、宮本部会長から、本日過去最長の会議時間になってしまった事のお詫びと議事進行に関するご協力への謝意が述べられ閉会となった。

以上